

研修会報告

平成 26 年 6 月 20 日

文責：一般検査部門長 佐藤美砂

研修会名「尿沈渣成分から読み取れる事」

～尿沈渣の基礎的分類及び有用成分の病態とのかかわり～

開催日時：平成 26 年 5 月 10 日（土） 13：15～17：15

会場：刈田総合病院大会議室

講演 1：尿沈渣検査法 2010 を基本とした尿沈渣成分の分類

講師：登米市医療局よねやま診療所診療技術部 高橋 治 技師

講演 2：尿沈渣成分から見えてくる臨床病態について

講師：アークレイ マーケティング（株） マーケティング統括部

講演 3：臨床検査データ及び尿沈渣成分からの症例検討

講師：大崎市民病院検査科 金沢 聖美 技師

生涯教育点数：専門 20 点

参加者：会員参加者 42 名、非会員 1 名、実務委員 6 名 計 49 名

内容

講演 1 では、尿沈渣法 2000 から 2010 で変更になった部分を重点的に、尿沈渣成分の分類方法・鑑別のポイントを学びました。赤血球の糸球体・非糸球体かの形態判別については、血尿診断ガイドライン 2013 にもふれながらお話をいただきました。

講演 2 では、腎臓の構造と機能から始まり、沈渣成分の出現動態と臨床的意義、定性反応と沈渣との関連付けについてお話をいただきました。

また、機械による尿沈渣検査には得意不得意があるので、技師による尿沈渣検査と同等のものではないことを教えていただきました。

講演 3 では、日常の検査で遭遇することがある症例について、患者情報・尿検査結果・多くのスライドを提示していただき、病態を考えていくお話をさせていただきました。

研修会後に回収したアンケートでは、たいへん好評をいただきました。